

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	751-0091
部 名	生涯学習部	課 名	青少年課	課長名	田所哲男
事務事業名	青少年学習センター活動費				
予算上の事務事業名	青少年指導者育成費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14210		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第2節 青少年の健全育成				事業開始年度
施 策 名	第1施策 青少年活動の促進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市立青少年学習センター条例・同条例施行規則・各事業実施要項				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	研修・講座 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象 (誰、何)
・ジュニア・シニア等の若いリーダーを育成し、青少年活動の活性化を図る。 ・高校生を海外に派遣し、国際的視野を広め、国際理解や社会参加について学ぶ機会とする。 ・青少年活動の指導者が、より効果的な活動ができるように、知識や技能を高める機会とする。					・中学生、高校生 ・青少年指導者
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
○リーダー研修会 8/9、8/11、8/16～17 (宿泊)、3/12、3/28実施 参加者(実人数) 89人、 内訳ジュニア67人 (修了者57人) シニア 22人					
○青少年指導者研修会 ①9/17「ボランティア活動と事故防止」参加者10人 ②2/23「現代の青年の特徴とその理解」参加者23人					
○青年海外派遣 対象高校生 ①8/5～16 オーストラリア 3人 ②8/7～17 カンボジア 1人					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	1,315	1,289	1,300	1,563	1,563
一般財源	1,264	1,238	1,249	1,512	1,512
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	51	51	51	51	51
人件費の合計	668	673	684	684	684
事業コスト合計	1,983	1,962	1,984	2,247	2,247
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	リーダー研修会・青少年指導者研修会 ・青年海外派遣			対象名称 と単位	参加者人数 (単位人)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	1,983	1,962	1,984	2,247	2,247
対象数	92	82	126	126	126
単位あたり経費(円)	21,554	23,927	15,746	17,833	17,833
前年度比		1.11	0.66	1.13	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	リーダー研修会修了者割合	指標式と指標の説明	ジュニア修了者数÷ジュニア参加者数（％）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	80.4	100.0	85.1		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	80.4	100.0	85.1		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	リーダー研修会修了者割合	指標式と指標の説明	ジュニア修了者数÷ジュニア参加者数（％）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	80.4	100.0	85.1		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	80.4	100.0	85.1		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・少子化傾向の中で引き続きニーズの高い事業である。 ・数値指標では表現しがたい面もあるが、リーダー研修会など 修了者率を高める努力・工夫が必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
・青少年関係団体との密接な協力関係を図る。 ・センター利用者等とのより深い信頼関係を構築する。			・参加者が少ない。 ・時代状況の分析が必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			